

# IV 表彰

JICA の業務に特に功労があった個人・団体に対して感謝の意を表すため、また、特に優秀な成果を収めた案件や事業および優秀な活動を行った個人・団体を優良事例として表彰を行っている。

〈表彰制度の変遷〉

## ● 1975～2003 年（国際協力事業団時代）

1975～2003 年

国際協力功労者表彰（個人または団体）

1994 年と 1999 年

国際協力特別表彰（事業）

## ● 2004～2009 年（国際協力機構以降）

2004～2009 年

JICA 理事長表彰（個人または団体）

2004 年と 2008 年

JICA 賞（事業）

## ● 2011 年以降

2011～2017 年

JICA 理事長表彰（3 部門）

① JICA 国際協力感謝賞（個人または団体）

② JICA 理事長賞（事業部門）（案件・事業）

③ JICA 理事長賞（専門家/ボランティア部門）（個人）

2018 年～

JICA 理事長表彰（個人または団体）

1975 年に表彰制度を開始し、JICA 事業に功績のあった個人・団体を対象とする「国際協力功労者表彰」を毎年行っていたが、独立行政法人化に伴って「JICA 理事長表彰」の名称に変更し、同様に個人・団体を表彰してきた。1994 年の国際協力事業団設立 20 周年の際に、優良な案件・事業を対象とする「国際協力特別表彰」を行い、それ以後は基本として 5 年ごとに表彰をすることとし、1999 年に 2 回目の表彰、そして独立行政法人化以降は 2004 年および 2008 年に名称を「JICA 賞」に変更して表彰を行った。

2011 年に表彰制度を再編し、以降、3 部門からなる「JICA 理事長表彰」を 2017 年まで行った。JICA 国際協力感謝賞は、国際協力功労者表彰の趣旨を引き継ぐもので、長期にわたって貢献のあった個人や団体への感謝表明を目的とし、JICA 理事長賞は JICA 賞を引き継ぐものとして、特に優秀な成果をあげた案件・事業を表彰するのに加え、優秀な活動を行った個人についても表彰する制度とした。

さらに 2018 年からは、事業形態の多様化や業務手法の変化に対応して表彰を行うため、表彰部門・対象を見直し、3 部門を「JICA 理事長賞」に統一して、機構に対する長年の

顕著な貢献があったもしくは個別事業等に対する顕著な貢献があった個人・団体を対象に表彰を行う制度に変更した。これは表彰単位をプロジェクトではなく個人・団体として国内外の関係者を幅広く表彰することにより、多様なパートナーとの関係強化の機会として表彰制度を活用することを意図したものである。

表彰については毎年、その年の表彰者を機構ホームページに掲載し、広く紹介している。

## 表彰件数（1999～2018 年）

年	国際協力功労者表彰		国際協力特別表彰
	個人	団体	事業
1999	30	18	6
2000	26	13	
2001	26	14	
2002	25	14	
2003	23	12	

年	JICA 理事長表彰		JICA 賞
	個人	団体	事業
2004	16	8	21
2005	24	11	
2006	20	9	
2007	20	8	
2008	32	10	21
2009	18	7	

年	JICA 理事長表彰			
	① JICA 国際協力感謝賞		② JICA 理事長賞	③ JICA 理事長賞
	個人	団体	事業	専門家/ ボランティア
2011	21	4	5	3
2012	7	10	4	4
2013	10	7	5	2
2014	22	7	7	2
2015	12	7	9	5
2016	13	5	8	5
2017	23	6	9	3

年	JICA 理事長表彰	
	JICA 理事長賞	
	個人/団体	
2018	49	